

盛岡市遺跡の学び館

平成 28 年度 館報



史跡盛岡城跡 第 36 次発掘調査 現地説明会

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は、南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川を始め、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も雫石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しています。

毎年、埋蔵文化財発掘調査が実施されており、それぞれの調査成果は逐次、報告書として刊行いたしますが、本書では速報としてその概要をまとめたものであります。

学芸事業におきましては、縄文時代中期に焦点を当てた企画展「縄文人の精神」を開催し、市内の遺跡から出土した土器の展開写真を通して、装飾や文様に込められた縄文人の精神を多くの市民の皆様に御覧頂きました。

また、テーマ展では、企画展に先立って、「縄文時代中期の盛岡」を開催し、市内の遺跡から出土した縄文土器や石の装飾品を紹介し、好評を博しました。

関連事業として、史跡めぐりや体験学習など、多様な事業も実施してきましたが、市民の皆様のニーズに十分お応えできたか顧みながら、今後もより一層内容の充実に職員一同励んで参りたいと存じます。

今後とも関係各位の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

盛岡市遺跡の学び館

館 長 杉 本 浩

例言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成 28 年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 Ⅲ -3 の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成 28 年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 Ⅲ -4 の上堂頭遺跡 第 12 次調査の遺跡平面位置は、平面直角座標 X 系（日本測地系座標）を座標変換した調査座標で表示した。

上堂頭遺跡 調査座標原点 R X ± 0 ← X - 30,000.000 m
 R Y ± 0 ← Y + 25,000.000 m

- 5 本書に使用した地図は、国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「渋民」及び「盛岡市広域都市計画図」（平成 12 年）を使用した。
- 6 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

目次

はじめに

例言・目次	1
I 施設概要	
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費	2
4 施設概要	2
II 職員体制	3
III 事業概要	
1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	13
4 上堂頭遺跡 第 12 次調査	22

報告書抄録

I 施設の概要

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定, 展示構想策定業務, 地質調査
平成14年度	建築実施設計, 展示施設計画, 建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託, 盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成29年3月末	開館以来の施設総利用者数 153,372人

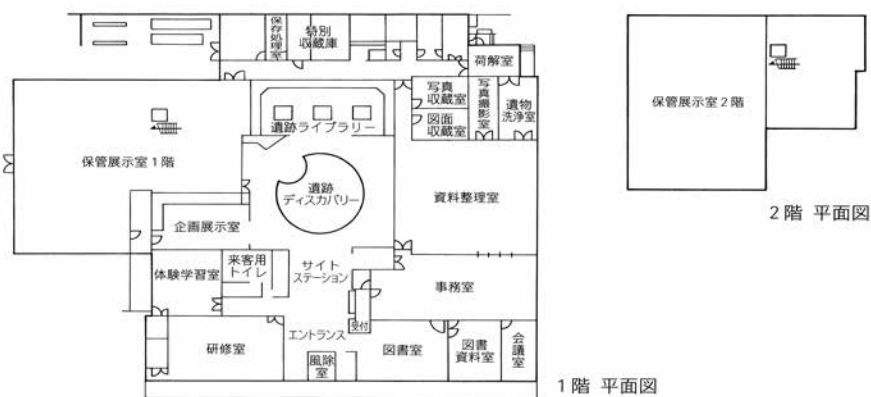
3 建設事業費等

・建設事業費 677,123千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート, 一部鉄骨造平屋(一部重層)			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積 2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡), 企画展示室(81.4㎡), 展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡), 図書資料室(47.7㎡), 図書室(66.3㎡), 体験学習室(70.9㎡), 研修機材室, 学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡), 特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡), 図面収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡), 遺物洗浄室(37.1㎡), 写真撮影室(28.8㎡), 保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡), 事務室(157.7㎡), 荷解室(24.5㎡), 休憩室(12.7㎡)			



館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】（平成 28 年度末現在）

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	H28 年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・田貝遺跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡 ほか	小コンテナ 28 箱
	調査資料	完形品等 (展示資料含む)	約 5,400 点
	調査資料	破片等コンテナ収納資料	大 300 箱 小 15,829 箱
	寄贈寄託	個人コレクション	8,521 点 2 点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面 (原図・第 2 原図・遺物実測図等)	約 4,400 枚
	写真	・写真 (モノクロ・カラーネガ:35mm, 6×7, 4×5) ・カラーライド (35mm, 6×7) ・デジタル画像 (700MB:CD・DVD)	約 130,000 コマ 約 44,000 コマ 約 440 枚

Ⅱ 職員体制

館 長 (兼) 杉本 浩
館長補佐 (兼) 北田 牧子

〔管理・学芸班〕		〔調査班〕	
(主事 1 非常勤 3)		(副主幹 1 主査 4 主任 1 主事 1 非常勤 2)	
主事 (兼)	佐藤 美沙	副主幹 (兼)	菊地 幸裕
文化財調査員 (非常勤)	日野杉 潤子	文化財主査 (兼)	室野 秀文
学芸調査員 (非常勤)	樋下 理沙	文化財主査 (兼)	津嶋 知弘
学芸調査員 (非常勤)	坂本 志野	文化財主査 (兼)	神原 雄一郎
		文化財主査 (兼)	花井 正香
		文化財主任 (兼)	佐々木 亮二
		文化財主事 (兼)	鈴木 俊輝
		文化財調査員 (非常勤)	及川 栞里
		文化財調査員 (非常勤)	今松 佑太

Ⅲ 事業概要

1 管理運営

【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

○第1回【日時】平成28年7月14日(木) 13:30～14:30 【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長, 阿部真一・佐藤由紀男・落合昭彦 委員

【議事】報告・入館者等利用状況について

審議・平成28年度遺跡の学び館事業について

○第2回【日時】平成29年2月10日(金) 13:30～15:00

【会場】当館 研修室

【出席者】熊谷常正 委員長, 阿部真一・金野万里・落合昭彦 委員

【議事】報告・平成28年度遺跡の学び館事業報告について

・平成28年度の国指定史跡の調査と整備状況について



遺跡ネットワーク整備委員会

【年間事業費】(平成28年度決算額)

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	13,724,299円	・臨時職員賃金, 施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,006,312円 (うち国補助1,104千円)	・テーマ展, 企画展, 調査資料展, 体験学習会, 普及資料の作成, 収蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	3,002,264円 (うち国補助1,441千円, 県補助317千円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	2,642,312円	・公共事業に伴う事前調査
盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	12,450,000円 (社会資本整備総合交付金4,780,000円, 起債6,300,000円, 市費1,370,000円)	・盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業 ・調査報告書作成 ・ゆいとびあミュージアムネットワーク
埋蔵文化財確認調査事業	772,700円	・個人住宅建築及び宅地造成等, 民間開発に係る試掘確認調査
計	35,597,887円	

【入館者統計】開館以降の入館者等利用状況(平成16年6月～平成29年3月)

(単位:人)

	有料入館者							減免利用者			展示室利用者数	展示室以外の利用者数	総計
	個人			団体			計	一般	小・中	計			
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
計	28,064	20,326	48,390	6,152	8,167	14,319	62,709	24,642	9,100	33,742	96,451	56,921	153,372

2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室においてテーマ展・企画展、平成28年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全6回開催し、またゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展 「縄文時代中期の盛岡」	会場	当館企画展示室
		来場者数	2,110名
開催期間	平成28年6月4日(土)～平成28年9月25日(日)	展示資料数	105点
展示構成	〔盛岡の縄文時代中期遺跡〕パネル展示〔縄文時代の生活と交流〕石器や装飾品、ヒスイなど遠方との交流を示す遺物展示〔盛岡の大木式土器〕市内出土の大木式土器優品展示〔文様の流儀と意匠〕基本的な文様を施す土器と独創的なデザインを感じさせる土器を展示		
概要	縄文時代中期に見られる力強くも華麗な造形美を持つ土器は盛岡市内からも出土しており、その装飾性の高い縄文時代中期の土器を年代順に展示し、どのように描かれたかを説明。同時に石で作られた装飾品も展示し、生活道具を芸術の域まで高めた縄文文化の素晴らしさを周知した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第14回企画展 「縄文人の精神 —盛岡の縄文時代中期の装飾—」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,349名
開催期間	平成28年10月8日(土)～平成29年1月22日(日)	展示資料数	78点
展示構成	〔盛岡の縄文時代中期〕縄文時代の中での中期の位置づけ、盛岡における縄文中期の特徴〔大木式土器〕中期(7～10式)の概要〔文様・装飾〕他地域と盛岡における土器装飾の特徴(装飾突起)、土器展開写真を用いながら、文様の意味を考える(物語装飾、過剰装飾)		
概要	1万年にも及ぶ縄文時代の中で縄文土器は姿かたちを多様に変えながら作られていった。中でも縄文時代中期は、火炎土器に代表されるような立体的かつ華麗な装飾を施された土器が出土しており、盛岡でも繫V遺跡の深鉢をはじめ大館町遺跡のキャリパー形深鉢など芸術性に富んだ土器が出土している。そこには、自然に対する畏怖・尊敬の念を抱き表現しようとした縄文人の精神的な高揚がうかがえる。文様の変遷とともに縄文人の精神性について検証した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示解説シート及び展示資料一覧		
タイトル等	第34回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する—平成28年度調査速報—」	会場	当館企画展示室
		来場者数	1,942名
開催期間	平成29年2月4日(土)～平成29年5月21日(日)	展示資料数	204点
展示遺跡	史跡盛岡城跡、細谷地遺跡、下永林遺跡、小山遺跡、田貝遺跡、里館遺跡、台太郎遺跡、西鹿渡遺跡、大谷地遺跡、下田館跡、中野館遺跡		
概要	平成28年度に市内で発掘された遺跡の概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展 縄文時代中期の盛岡



企画展 縄文人の精神



第34回埋蔵文化財調査資料展

【講演会・座談会】(企画展関連事業)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成28年11月20日(日) 13:30～15:30	特別講演会「縄文時代中期大木式土器の特徴と地域性」 東北大学埋蔵文化財調査室 特任准教授 菅野 智則 氏	55名
平成29年1月22日(日) 13:30～15:30	特別企画 公開座談会 「なぜ今、縄文なのか」 盛岡大学文学部 教授 熊谷 常正 氏 作家・月刊「街もりおか」編集長 斎藤 純 氏 当館 文化財主査 津嶋 知弘	44名

【学芸講座】(企画展関連事業)

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成28年5月15日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅰ「震災復興と埋蔵文化財―大船渡市大洞貝塚発掘調査―」 当館 佐々木 亮二 文化財主任	22名
平成28年9月11日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅱ「縄文時代中期の盛岡」 当館 神原 雄一郎 文化財主査	20名
平成28年10月23日(日) 13:30～15:00	学芸講座Ⅲ「東北の縄文時代中期」 当館 津嶋 知弘 文化財主査	30名

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成28年6月5日(日) 9:30～12:00	「縄文土器をつくろう！」(親子) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	17名
平成28年6月19日(日) 7月10日(日) 9:30～12:00	「やきもの教室」(制作と釉薬掛け 2回) 講師:松田 昭夫 氏 補助:当館職員・サポーターズクラブ	8名
平成28年7月3日(日) 9:00～13:00	「もりおか史跡・遺跡めぐり “盛岡の遺跡を見に行こう!”」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	11名
平成28年9月4日(日) 13:30～15:30	「考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	23名
平成28年12月4日(日) 9:30～12:00	「つるを編んでみよう!」 対応:当館職員・サポーターズクラブ	11名
平成29年2月12日(日) 9:30～16:00	「カゴ作り教室」(2回) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	40名



やきもの教室



考古学者になってみよう! 遺跡発掘体験



カゴ作り教室

【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば	平成28年4月29日(金) ～5月8日(日) 10日間	午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:00～14:30	勾玉作り154名、土玉彩色127名、 古代風ストラップ192名、火おこし 646名、まなびのひろば0名 (のべ1,119名)
夏休み！ 古代体験ひろば	平成28年7月30日(土) ～8月7日(日) 9日間	メニュー：勾玉作り・土玉彩色・古 代風ストラップ(有 料)、火おこし・ま なびのひろば(無 料)	勾玉作り94名、土玉彩色51名、古代 風ストラップ125名、古代お守りネッ クレス6名、火おこし331名、まなび のひろば3名 (のべ610名)
冬休み！ 古代体験ひろば	平成29年1月4日(水) ～1月9日(月) 6日間		勾玉作り29名、土玉彩色33名、古代 風ストラップ56名、古代お守りネッ クレス2名、火おこし188名、まなび のひろば2名 (のべ310名)



ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば



夏休み！ 古代体験ひろば(火おこし)



冬休み！ 古代体験ひろば(古代お守り)

(3) ボランティア活動や地域連携活動

【盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとぴあミュージアムネットワーク」(略称もりとぴあねっと)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。

新たな取り組みとして「めんこいまつり」への参加を行い、沿岸被災地(宮古市・大船渡市)の4～6年生の児童80人をもりとぴあねっと6館が受け入れた。当館では児童20人に対し、展示解説や火おこしなどの縄文体験学習を実施した。

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
夏休み☆もりとぴあスタ ンプラリー	平成28年7月16日(土) ～8月28日(日)	施設PRとして、スタンプ ラリー台紙を小学生児童に 配布。7会場中、4カ所の 押印で記念品贈呈。	7施設全体のスタンプ押 印者数 2,551名 記念品交換者数 283名
もりとぴあねっとまつり 2016 勾玉ネックレスづくり	平成28年11月26日(土) 13:00～15:30	もりとぴあねっとと館のPR の一環として勾玉とビーズ を組み合わせるネックレス 作り。(サポーターズクラブ 支援)	参加90名

催事のタイトル	開催期間(日)	内 容	参加・聴講者数
もりとぴあねっとイベント 勾玉ネックレスづくりと盛 南地区発掘調査パネル展	平成29年2月19日(日) 13:00～16:00	イオン盛岡南SCを会場と して、粘土に彩色して作っ た土玉とビーズを組み合わ せてネックレス及びブレス レット作り。	参加90名

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して11年目を迎えた。本年度は大学生6名が新たに入会し、会員数15名での活動となった。当館行事の春・夏・冬の「古代体験ひろば」(個人の体験学習)をはじめ、史跡めぐり・やきもの教室・野焼きをはじめ各種の体験教室、館外の大規模SCでのもりとぴあねっとPR活動なども含め、精力的に活動に参加され、支援していただいた。

また自主活動として、他館の展示方法・工夫などの修得及び会員の親睦を図るために研修旅行(研修先:宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム 期日:平成28年10月30日(日))を企画し、15名が参加された。



めんこいまつり



もりとぴあねっとイベント
勾玉ネックレスづくり



サポーターズクラブ研修旅行

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
平成28年5月27日(金)	職場体験学習	秋田県鹿角市立花輪中学校2年生	7名
平成28年6月2日(木)		秋田県鹿角市立尾去沢中学校2年生	3名
平成28年7月1日(金)		滝沢市立姥屋敷中学校1年生	1名
平成28年7月5日(火)		厨川中学校2年生	2名
平成28年7月5日(火) ～7月6日(水)		滝沢市立滝沢第二中学校2年生	1名
平成28年8月25日(木) ～8月26日(金)		河南中学校2年生(発掘体験)	3名
平成28年10月13日(木)		青森県弘前市立第五中学校2年生	6名
平成28年7月29日(金) ～7月30日(土)	インターンシップ研修	学校法人龍澤学館盛岡公務員法律専門 学校1年生	3名
平成28年8月18日(木) ～8月24日(水)	博物館実習	岩手大学3名, 盛岡大学1名, 宮城 学院女子大学1名	5名
平成28年9月7日(水) ～9月10日(土)	インターンシップ研修	岩手大学3年生	1名
平成28年9月7日(水) ～9月9日(金)		岩手県立大学宮古短期大学部1年生	1名



職場体験学習



職場体験学習



博物館実習

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成28年5月24日(火)	学びの循環推進事業(まちづくりコース)「宮古街道を探る」	神原 雄一郎 文化財主査	Polepole(ポレポレ)会	11名
平成28年6月18日(土)	太田分館歴史講座第2回「志波城と太田地区の遺跡」	津嶋 知弘 文化財主査	盛岡市中央公民館 太田分館	13名
平成28年7月16日(土)	太田分館歴史講座第3回「遺跡から見た太田の歴史」	菊地 幸裕 副主幹	盛岡市中央公民館 太田分館	10名
平成28年7月23日(土)	講話・体験学習(勾玉づくり)	北田 牧子 館長補佐 日野杉 潤子 文化財調査員 樋下 理沙 学芸調査員	岩手町立一方井小学校 3年生	39名
平成28年8月26日(金)	学びの循環推進事業(まちづくりコース)「もりおかの遺跡⑥ 都南地区」	佐々木 亮二 文化財主任	盛岡市地域福祉センター	21名
平成28年9月10日(土)	わくわくチャレンジふれあいの日(講話・発掘体験)	佐々木 亮二 文化財主任	手代森小学校	68名
平成28年9月18日(日)	学びの循環推進事業(まちづくりコース)「岩洞湖の野田街道と遺跡の見学」	神原 雄一郎 文化財主査	Polepole(ポレポレ)会	13名
平成28年9月23日(金)	学びの循環推進事業(まちづくりコース)「手代森遺跡」	佐々木 亮二 文化財主任	中央公民館(遺跡の学び館)	24名
平成28年11月8日(火)	学びの循環推進事業(まちづくりコース)「もりおかの遺跡⑥ 都南地区」	花井 正香 文化財主査	総合支所通商店会	20名

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
平成 28 年 12 月 9 日(金)	平成 28 年度埋蔵文化財発掘調査技術講習会	花井 正香 文化財主査 今松 佑太 文化財調査員	公益財団法人 岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館
平成 29 年 1 月 16 日(月) ～ 1 月 20 日(金)	平成 28 年度文化財担当専門 者研修「中世城郭調査整備 課程」	鈴木 俊輝 文化財主事	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成 29 年 2 月 1 日(水) ～ 2 月 3 日(金)	平成 28 年度文化財等取扱講習 会	坂本 志野 学芸調査員	公益財団法人 岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場・視察先
平成 28 年 8 月 25 日(木)	平成 28 年度日本博物館協会 東北支部・東北地区博物館 協会総会・研修会及び岩手 県博物館等連絡協議会総会	北田 牧子 館長補佐	日本博物館協会東北支部・東北地 区博物館協会・岩手県博物館等連 絡協議会(遠野市立博物館)
平成 28 年 10 月 6 日(木) ～ 10 月 7 日(金)	平成 28 年度全国公立埋蔵文 化財センター連絡協議会北 海道・東北ブロック会議	北田 牧子 館長補佐 菊地 幸裕 副主幹	札幌市埋蔵文化財センター 北海道大学総合博物館 ほか

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
平成 28 年 9 月 21 日(水) 10:00～16:00	下永林遺跡第 3 次発掘調査現地公開	150 名
平成 28 年 12 月 3 日(土) 13:30～15:00	史跡盛岡城跡第 36 次発掘調査現地説明会	110 名
平成 29 年 3 月 5 日(日) 13:30～15:00	第 34 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成 28 年度 調査速報ー」関連事業「平成 28 年度調査成果報告会」	66 名

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件 名	発行日	部 数	販売の有無
「盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅷー盛岡南新都市開発 整備事業関連遺跡 平成 22～24 年度発掘調査①ー」	平成 28 年 9 月 30 日	300 部	公的機関に 配布予定
「里館遺跡 第 60 次発掘調査報告書」	発行 太平工業株式会社 平成 28 年 12 月 30 日	150 部	
「田貝遺跡ー診療所建設工事に伴う緊急発掘調査報告書 ー」	発行 三浦 達雄 平成 29 年 3 月 17 日	150 部	
「盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅸー盛岡南新都市開発 整備事業関連遺跡 平成 22～24 年度発掘調査②ー」	平成 29 年 3 月 20 日	300 部	

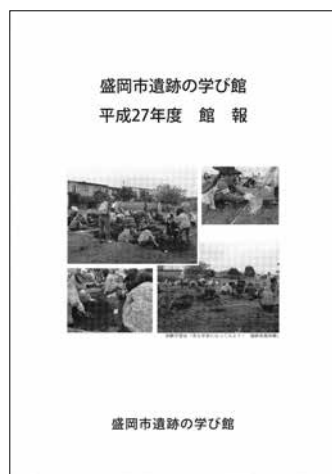
件名	発行日	部数	販売の有無
「盛岡市内遺跡群—平成26年度発掘調査報告書—」	平成29年3月24日	300部	公的機関に 配布予定
「盛岡市遺跡の学び館 平成27年度館報」	平成29年3月25日	350部	

【学芸関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第14回企画展「縄文人の精神—盛岡の縄文時代中期の装飾—」	平成28年10月8日	300部	500円
「遺跡の学び館 特報」	平成29年3月	500部	無料配布



盛岡市内遺跡群 発掘調査報告書



平成27年度 館報



第14回企画展 展示図録

(8) 他市町村への埋蔵文化財担当職員の派遣及び現地指導

派遣先・依頼機関	職務内容	人数	派遣期間
公益財団法人岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター	「一関市八幡沖遺跡」現地指導	1名	平成28年8月5日
公益財団法人岩手県文化振興事業団 埋蔵文化財センター	「宮古市千徳城遺跡群」現地指導(2回)	1名	平成28年9月15日～16日 平成29年3月1日～3日
花巻市教育委員会	「花巻城三之丸跡(新興製作所跡地)」 現地指導	1名	平成28年9月13日
花巻市教育委員会	花巻城跡調査保存検討委員会(2回)	1名	平成28年10月3日 平成29年1月30日
二戸市教育委員会	「史跡九戸城跡」現地指導	1名	平成28年10月19日
横手市教育委員会	「後三年合戦金沢柵公開講座」講師	1名	平成29年3月10日～11日

(9) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成27年度末	平成28年度増加分	
発掘調査報告書			17,733	588	18,321
一般 図書	考古学	概説書など	267	6	273
	歴史学	日本史・郷土史など	179	6	185
	民俗学	民具・民俗芸能など	19	0	19
	美術工芸	絵画・彫刻・建造物など	32	0	32
	自然科学	動植物など	5	1	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	53	0	53
	博物館学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	その他	辞典・事典など	46	2	48
資料集	図録・解説書・パンフ・レジュメなど	1,945	76	2,021	
全集	3冊以上	468	3	471	
論集	論文集など	53	1	54	
通史	市町村史	268	2	270	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	4,450	142	4,592	
計			25,521	827	26,348

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター・博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文，一般刊行物，各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い，保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと，図書資料室に収蔵のうえ，受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

平成 28 年度に当館は、本発掘調査 14 件、試掘調査 12 件、合計 26 件の調査を行った。前年度と同件数である。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が 1 件、大規模区画整理事業に係る本調査 2 件、市道改良等の公共事業に係る本調査 2 件、民間開発関連では、個人専用住宅建築に係る本調査 4 件・試掘調査 4 件、共同住宅建築に係る試掘調査が 3 件、病院等の建築に係る本調査 4 件・試掘調査 3 件、宅地造成に係る試掘調査が 2 件、墓地整備の開発行為に係る本調査 1 件である。調査総面積は 13,332㎡で、前年度比 121.7% となっている。

調査地の地域的分布は、雫石川南岸の太田・向中野地区が 7 地点、旧市街地区が 1 地点、厨川地区が 7 地点、上田地区が 2 地点、中津川地区が 1 地点、築川地区が 2 地点、飯岡地区が 2 地点、玉山地区が 4 地点となっている。

本報告では、本調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。なお、次節の上堂頭遺跡 第 12 次調査は、本書をもって正式報告とする。

【平成 28 年度埋蔵文化財発掘調査 (本調査・試掘調査) 一覧】

区分	No	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	36	内丸 57-1 地内	史跡保存整備 の事前調査	11 月 2 日～ 12 月 22 日	300	土塁 2 条、堀 1 条、柵 2 条、 礎石建物跡 4 棟、土坑 3 基、 柱穴 13 口 近世の瓦、陶磁器、古銭等 コンテナ約 20 箱
	2	田貝遺跡	16	上鹿妻田貝 11- 1, 11-8, 11-9, 11-16, 11-17	診療所建設	4 月 4 日～ 4 月 26 日	743	縄文時代の土坑 4 基、平安時 代の溝跡 1 条、古代以降の土 坑 1 基 縄文土器・石器 コンテナ約 1/3 箱
	3	西鹿渡遺跡	30	三本柳 2 地割 35-17	個人住宅建築	4 月 27 日～ 5 月 24 日	73	奈良時代の竪穴建物跡 1 棟 奈良時代の土師器・紡錘車 コンテナ約 2 箱
	4	細谷地遺跡	36	向中野字細谷地 7-2 外	土地区画整理 事業	5 月 9 日～ 8 月 4 日、 10 月 4 日～ 12 月 8 日	7,974	縄文時代の陥し穴状土坑 21 基、平安時代の竪穴建物跡 1 棟、 古代の竪穴跡 2 基、古代以降 の土坑 2 基、溝跡 3 条、時期 不詳のピット 59 口 縄文土器、弥生土器、古代の 土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約 1 箱
	5	台太郎遺跡	87	向中野二丁目 137-29 の一部、 137-28	個人住宅建築	5 月 16 日～ 6 月 3 日	61	古代の竪穴建物跡 1 棟、竪穴 跡 1 基、溝跡 1 条 古代の土師器 コンテナ約 1 箱
	6	台太郎遺跡	88	向中野二丁目 137-29 の一部	個人住宅建築	5 月 16 日～ 6 月 3 日	61	古代の竪穴跡 1 基、土坑 1 基、 溝跡 1 条 古代の土師器・土製品 コンテ ナ約 1 箱
	7	上堂頭遺跡	12	上堂四丁目 8-1 外	民間福祉施設 建設	5 月 30 日～ 6 月 8 日	646	縄文時代の陥し穴状土坑 2 基、 時期不詳の竪穴状遺構 1 基 遺物なし

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本調査	8	里館遺跡	60	北天昌寺町 17-6, 28-20	社屋建設	7月4日～ 8月1日	105	中世の堀跡2条, 土坑2基 縄文土器片, 常滑甕片, かわらけ片, 近世陶磁器片
	9	下永林遺跡	3	三本柳 10 地割 46-3 外	土地区画整理 事業	8月1日～ 9月30日	617	縄文時代の土坑1基, 奈良・ 平安時代の円形周溝3基 奈良・平安時代の土師器・須恵 器・あかやき土器 コンテナ約 1/2箱
	10	大谷地遺跡	2	玉山字二子沢地 内	市道改良工事	8月18日～ 11月16日	815	縄文時代の陥し穴状土坑2基, 平安時代の陥し穴状土坑1基, 土坑1基, 遺物包含層 縄文時代早期末～前期初頭の 土器・石器 コンテナ約3箱
	11	小山遺跡	41	東中野町 30-1	福祉施設建設	8月29日～ 11月30日	196	縄文時代の竪穴建物跡2棟 縄文時代前期～中期の土器・石 器 コンテナ約50箱
	12	岩洞湖 G 遺跡	2	菟川字亀橋地内	市道改良工事	11月7日～ 11月30日	84	縄文時代の土坑1基 遺物 なし
	13	志波城跡	112	中太田吉原 51-4	個人住宅建替	11月21日～ 12月7日	135	平安時代の掘立柱建物跡掘方1 基, 雨落溝跡, 土坑1基 平安時代の土師器甕片
	14	下田館跡	1	下田字生出袋 62-3, 62-4	墓地整備	12月19日～ 12月21日	240	縄文時代の遺物包含層 縄文時代早期の土器・石器
試掘調査	15	稲荷町遺跡	32	大館町 235-1	介護施設建設	4月11日	263	縄文時代の土坑4基, 平安時 代の竪穴建物跡3棟, 平安時 代以降の溝跡1条 平安時代後期の土器片
	16	四十四田 B 遺跡	3	上田字松屋敷 33-3	宅地造成	4月22日	36	遺構・遺物 なし
	17	稲荷町遺跡	33	大館町 323-5, 323-13	宅地造成	4月27日	31	遺構・遺物 なし
	18	小屋塚遺跡	42	大新町 20-22	個人住宅建築	6月23日～ 6月24日	52	遺構 なし 縄文土器片, 剥片, 陶磁器片
	19	砂溜遺跡	42	東山一丁目 176- 1, 177-1 の各一 部	集合住宅建築	10月4日～ 10月5日	259	遺物包含層 縄文時代前期～晩期の土器・土 製品, 弥生時代中期の土器
	20	屠牛場遺跡	4	山岸三丁目 14-1 外	長屋住宅建築	10月21日	201	遺構 なし 縄文土器片
	21	太田蝦夷森古墳 群	6	猪去米倉 38-2 外	コンビニエン ストア建築	11月2日	25	遺構・遺物 なし
	22	西黒石野遺跡	14	黒石野二丁目 35- 32	個人住宅建築	12月15日～ 12月16日	36	縄文時代の遺物包含層 縄文時代早期の土器片
	23	築袋 I 遺跡	1	好摩字築袋 21-1 の一部	個人住宅建築	12月16日	19	遺構・遺物 なし
	24	台太郎遺跡	89	向中野二丁目 3-7	共同住宅建築	12月21日	29	平安時代の竪穴建物跡2棟 平安時代の土師器・須恵器片
	25	里館遺跡	61	北天昌寺町 8-10	スーパーマー ケット建設	3月13日・ 3月16日	316	縄文時代の陥し穴状土坑1基, 古代以降のピット1口 遺物 なし
	26	安倍館遺跡	90	安倍館町 179-4, 183-3	個人住宅建築	3月17日	15	時期不詳の溝跡1条 遺物 なし
総面積							13,332	



1	岩洞湖 G 遺跡 (第 2 次)	2	大谷地遺跡 (第 2 次)	3	下田館跡 (第 1 次)
4	上堂頭遺跡 (第 12 次)	5	里館遺跡 (第 60 次)	6	盛岡城跡 (第 36 次)
7	小山遺跡 (第 41 次)	8	志波城跡 (第 112 次)	9	田貝遺跡 (第 16 次)
10	台太郎遺跡 (第 87・88 次)	11	細谷地遺跡 (第 36 次)	12	西鹿渡遺跡 (第 30 次)
13	下永林遺跡 (第 3 次)				

平成 28 年度調査遺跡 位置図

○史跡整備に伴う事前調査

(1) 国指定史跡^{もりおかじょうあと}盛岡城跡 第 36 次調査

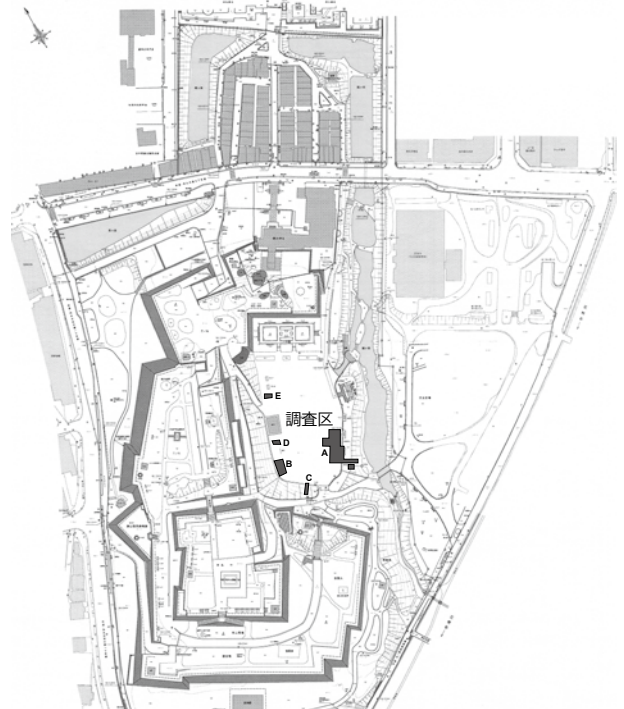
- | | | | |
|--------|--|--------|----------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市内丸 57-1 地内 | 2 調査原因 | 保存整備事業に伴う事前調査 |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 11 月 2 日～12 月 22 日 |
| 5 調査面積 | 300㎡ | 6 調査員 | 室野 秀文・佐々木 亮二 |
| 7 検出遺構 | 土塁 2 条, 堀 1 条, 柵 2 条, 礎石建物跡 4 棟, 土坑 3 基, 柱穴 13 口 | | |
| 8 出土遺物 | 藩政期の瓦, 陶磁器, 寛永通宝 コンテナ約 20 箱 | | |
| 9 調査概要 | 史跡盛岡城跡は, 市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。本丸, 二ノ丸, 三ノ丸などで構成される連郭式縄張の内曲輪(御城内)を要とし, その外側に外曲輪, 遠曲輪を配置した梯郭式の城郭である。主要曲輪は総石垣造りとなっている。築城から 400 年以上経過し, 石垣は城内各所で孕みや陥没が認められ, 一部では崩落の危険性もあげられる。 | | |

当市では、平成 24 年に策定した「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修復をはじめとする保存整備計画を計画し、これに係る事前調査を平成 25 年度から実施している。第 36 次調査は、御台所地区を対象とした。

A～E の 5 地点の調査の結果、A 地区において、これまで詳細が不明であった御台所の礎石建物跡の一部が確認された。盛岡城 2 期以降の時期が想定されるものである。また、建物跡の下層からは、先行する時期の土塁と柵、堀が検出された。



第 36 次調査 礎石建物跡



第 36 次調査区 位置図

○公共事業関連

(1) 細谷地遺跡 第 36 次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|---|
| 1 調査地 | 盛岡市向中野字細谷地 7-2 外 | 2 調査原因 | 道明地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 5 月 9 日～ 8 月 4 日,
10 月 4 日～ 12 月 8 日 |
| 5 調査面積 | 7,974㎡ | 6 調査員 | 花井 正香・及川 栞里 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の陥し穴状土坑 21 基, 平安時代の竪穴建物跡 1 棟, 古代の竪穴跡 2 基, 古代以降の土坑 2 基, 溝跡 3 条, 時期不詳のピット 59 口 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文土器, 弥生土器, 古代の土師器・須恵器・あかやき土器等 コンテナ約 1 箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、北上川西岸と雫石川南岸に広がる低位沖積段丘の南端縁辺部に立地している。これまでの調査で、奈良・平安時代の竪穴建物跡が 230 棟以上確認された大規模集落跡である。 | | |

今次調査では、遺跡南東部を対象とし、縄文時代の陥し穴状土坑群、平安時代の竪穴建物跡等の遺構と、土師器・須恵器等の遺物を検出した。



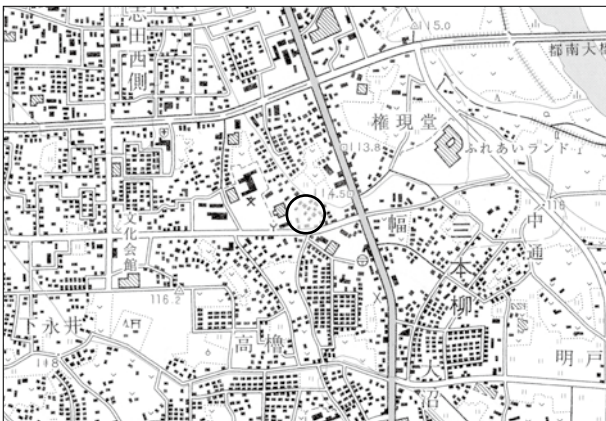
第 36 次調査区 位置図



第 36 次調査区 全景

しもながばやし
(2) 下永林遺跡 第3次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|--------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳 10地割 46-3 外 | 2 調査原因 | 都南中央第三地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の試掘・本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 8 月 1 日～9 月 30 日 |
| 5 調査面積 | 617m ² | 6 調査員 | 花井 正香・及川 菜里 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の陥し穴状土坑 1 基, 奈良・平安時代の円形周溝 3 基, 時期不詳のピット 20 口 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良・平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約 1/2 箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は, 大道西古墳とも称され, 昭和初期に蕨手刀が出土したことで知られている。今次調査では, 縄文時代の陥し穴状土坑, 奈良・平安時代の円形周溝等の遺構が確認された。このうち, 円形周溝は, 馬蹄形を呈し, 全容が判明しているもので, 径約 10m を測る。当該地における群集墳の存在が想起される知見である。 | | |



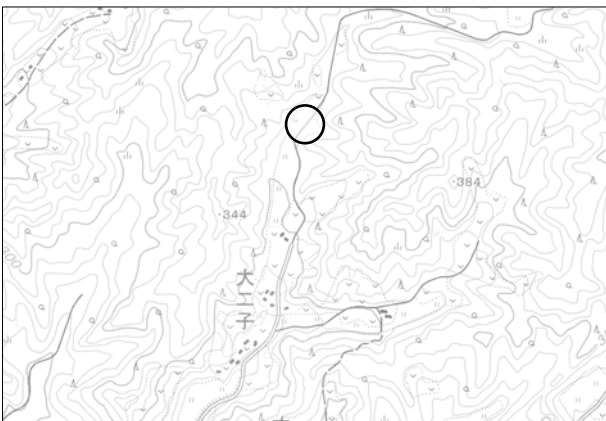
第3次調査区 位置図



第3次調査 円形周溝

おおやち
(3) 大谷地遺跡 第2次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|----------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市玉山字二子沢地内 | 2 調査原因 | 市道二子沢線改良工事 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 8 月 18 日～11 月 16 日 |
| 5 調査面積 | 815m ² | 6 調査員 | 佐々木 亮二・鈴木 俊輝 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の陥し穴状土坑 2 基, 平安時代の陥し穴状土坑 1 基, 土坑 1 基, 遺物包含層 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文時代早期末～前期初頭の土器・石器 コンテナ約 3 箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は, 二子沢西岸に広がる丘陵の東側裾部の崖錐性緩斜面に立地する。今次調査の結果, 縄文時代の陥し穴状土坑等の遺構が検出された。出土遺物は, 縄文時代早期末を主体とする土器・石器で, 市内でも類例の乏しい資料である。 | | |



第2次調査区 位置図



第2次調査区 南半部全景

(4) ^{がんどうこ}岩洞湖G遺跡 第2次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市薮川字亀橋地内 | 2 調査原因 | 市道一の渡岩洞湖線改良工事 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成28年11月7日～11月30日 |
| 5 調査面積 | 84㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二・鈴木俊輝 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代の土坑1基 | | |
| 8 出土遺物 | なし | | |
| 9 調査概要 | 岩洞湖遺跡群は、岩洞湖畔に点在する遺跡群で、このうち本遺跡は、岩洞湖北東部に位置している。今次調査では、縄文時代の土坑が1基確認されている。 | | |



第2次調査区 位置図

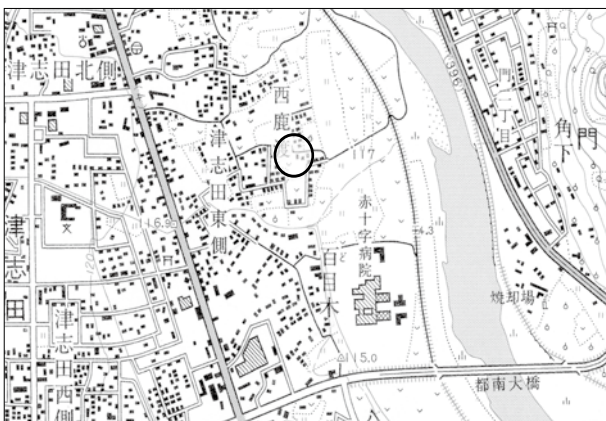


第2次調査区 全景

○個人住宅建築関連

(1) ^{にしかど}西鹿渡遺跡 第30次調査

- | | | | |
|--------|--|---------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳2地割35-17 | 2 調査原因 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成28年4月27日～5月24日 |
| 5 調査面積 | 73㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二・鈴木俊輝・今松佑太 |
| 7 検出遺構 | 奈良時代の竪穴建物跡1棟 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良時代の土師器、土製紡錘車 | コンテナ約2箱 | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、北上川の西岸に広がる低位沖積段丘上に立地している。今次調査では、奈良時代の竪穴建物跡を1棟確認した。この建物跡は、北西壁に2ヶ所、北東壁に1ヶ所の煙道を有するもので、3回にわたるカマドの造り替えが推測されるものである。遺物は、土師器 坏・甕、土製紡錘車等が出土している。 | | |



第30次調査区 位置図



第30次調査 竪穴建物跡

(2) 台太郎遺跡 第 87・88 次調査

- 1 調査地 盛岡市向中野二丁目 137-28, 137-29 2 調査原因 個人住宅建築
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査 4 調査期間 平成 28 年 5 月 16 日～6 月 3 日
- 5 調査面積 122㎡ 6 調査員 鈴木俊輝・今松佑太
- 7 検出遺構 古代の竪穴建物跡 1 棟, 竪穴跡 1 基, 土坑 1 基, 溝跡 1 条
- 8 出土遺物 古代の土師器, 土製品 コンテナ約 2 箱
- 9 調査概要 本遺跡は, 雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地する, 盛岡市内最大規模の古代集落跡である。今次調査では, 古代の竪穴建物跡, 竪穴跡等の遺構と, 土師器 小型甕・球胴甕等の遺物が検出された。



第 87・88 次調査区 位置図



第 87・88 次調査 全景

(3) 国指定史跡志波城跡 第 112 次調査

- 1 調査地 盛岡市中太田吉原 51-4 2 調査原因 個人住宅建替
- 3 調査方法 調査対象区域全面の本調査 4 調査期間 平成 28 年 11 月 21 日～12 月 7 日
- 5 調査面積 135㎡ 6 調査員 津嶋知弘
- 7 検出遺構 平安時代(志波城期)の掘立柱建物跡掘方 1 基, 雨落溝跡, 土坑 1 基, ピット 1 口
- 8 出土遺物 平安時代の土師器甕片
- 9 調査概要 国指定史跡志波城跡は, 延暦 22 (803) 年に造営された古代陸奥国最北端・最大級の城柵である。今次調査は, 志波城郭内北部, 政庁築地線北西隅の北西に位置する地点を対象とした。当該地点は, 平成元年に実施した第 48 次調査区に隣接している。調査の結果, 第 48 次調査区から続く掘立柱建物跡の柱の掘方 1 基と, 建物北辺の雨落溝跡等を検出した。第 48 次調査結果と勘案すれば, 当該建物が北西官衙域の主要舎殿の一つであることを示唆するものである。



第 112 次調査区 位置図



第 112 次調査 検出遺構

○民間開発関連

(1) 田貝遺跡 第16次調査

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|--------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市上鹿妻田貝 11-1, 11-8 外 | 2 調査原因 | 診療所建設 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 4 月 4 日～4 月 26 日 |
| 5 調査面積 | 743m ² | 6 調査員 | 花井 正香・及川 栞里 |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑 3 基, 土坑 1 基, 平安時代の溝跡 1 条, 古代以降の土坑 1 基, ピット 19 口
- 8 出土遺物 縄文時代の土器・石器 コンテナ約 1/3 箱
- 9 調査概要 本遺跡は、雫石川南岸に広がる沖積段丘上に立地している。今次調査では、縄文時代の陥し穴状土坑, 平安時代の溝跡等の遺構と、縄文時代晩期前葉の注口土器, 剥片等の遺物が確認された。このうち、平安時代の溝跡は、土層の堆積状況等から、志波城廃絶後に構築された区画溝と推測されるものである。なお、本調査については、別途正式報告済（『田貝遺跡－診療所建設工事に伴う緊急発掘調査報告書－』 2017 年 3 月）である。



第 16 次調査区 位置図



第 16 次調査区 全景

(2) 里館遺跡 第60次調査

- | | | | |
|--------|----------------------|--------|-------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市北天昌寺町 17-6, 28-20 | 2 調査原因 | 社屋建設 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 7 月 4 日～8 月 1 日 |
| 5 調査面積 | 105m ² | 6 調査員 | 室野 秀文 |
- 7 検出遺構 中世の堀跡 2 条, 土坑 2 基, 柱穴 25 口
- 8 出土遺物 縄文土器片, 常滑甕片, かわらけ片, 銅銭, 近世陶磁器片
- 9 調査概要 本遺跡は、雫石川北岸の段丘上に立地する、中世城館跡を主体とする遺跡である。今次調査では、中世の堀跡等の遺構と、中世前半期の常滑甕片等の遺物を確認した。検出された堀跡は、遺跡西半の勾当館を画するもので、当該区域の様相が窺える知見である。なお、本調査については、別途報告済（『里館遺跡 第 60 次発掘調査報告書』 2016 年 12 月）である。



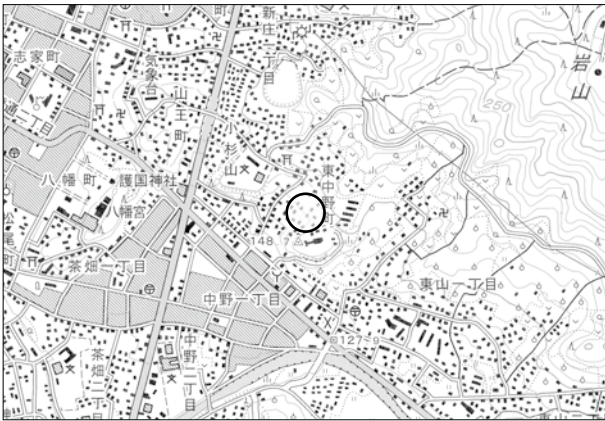
第 60 次調査区 位置図



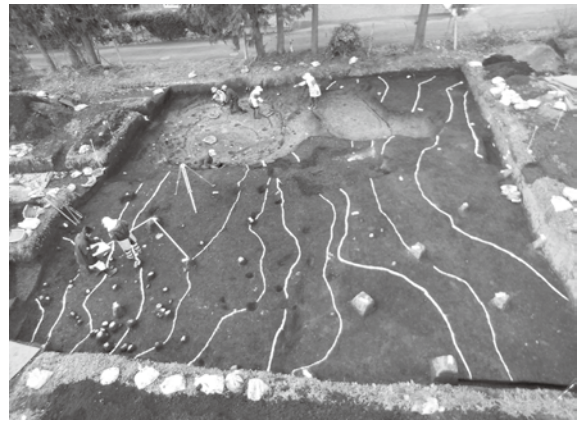
第 60 次調査区 南半部全景

(3) ^{こやま}小山遺跡 第41次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市中野町 30-1 | 2 調査原因 | 福祉施設建設 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 8 月 29 日～ 11 月 30 日 |
| 5 調査面積 | 196㎡ | 6 調査員 | 神原 雄一郎・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代前期～中期初頭の竪穴建物跡 2 棟 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文時代前期～中期初頭の土器・石器 コンテナ約 50 箱 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、築川北岸に広がる小丘陵地に立地している。今次調査では、縄文時代前期～中期初頭に帰属する竪穴建物跡が 2 棟検出された。竪穴建物跡は、1 棟が 5 回、1 棟が 2 回にわたって建て替えが行われており、住居構築の変遷が窺える成果となっている。 | | |



第 41 次調査区 位置図



第 41 次調査 調査風景

(4) ^{しもだてあと}下田館跡 第1次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下田字生出袋 62-3, 62-4 | 2 調査原因 | 墓地整備 |
| 3 調査方法 | トレンチによる確認調査及び本調査 | 4 調査期間 | 平成 28 年 12 月 19 日～ 12 月 21 日 |
| 5 調査面積 | 240㎡ | 6 調査員 | 神原 雄一郎・花井 正香・今松 佑太 |
| 7 検出遺構 | 縄文時代早期の遺物包含層 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文時代早期初頭～中葉の土器・石器 | | |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、北上川西岸の低位段丘上に立地する、中世城館跡を主体とする遺跡である。今次調査では、試掘トレンチにより確認調査を行い、遺物が確認された部分を拡張して本調査を実施した。調査の結果、縄文時代早期の遺物包含層が確認され、ここより、早期初頭～中葉の土器・石器が出土した。特に、早期初頭の無文土器は全国的にみても類例に乏しく、盛岡における当該期の様相を示す資料である。 | | |



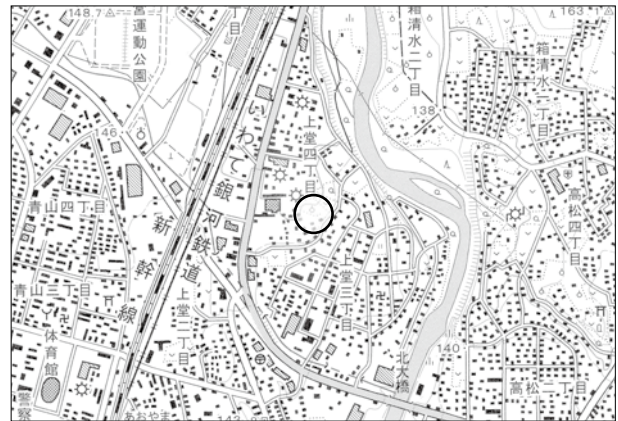
第 1 次調査区 位置図



第 1 次調査 調査風景

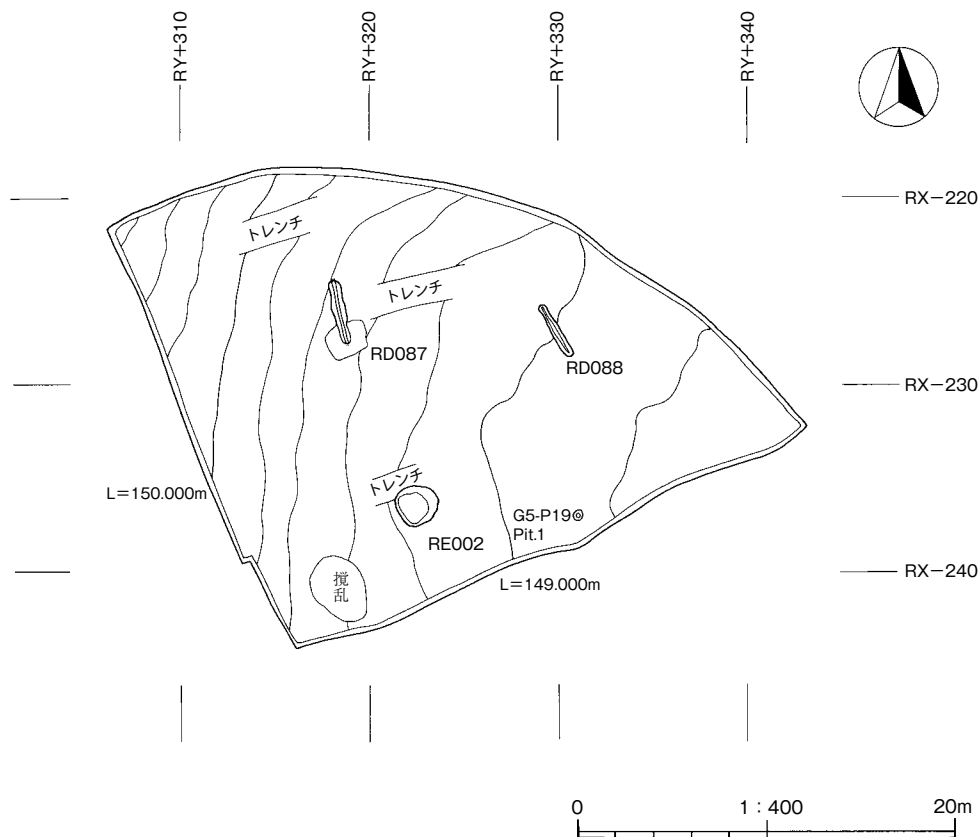
4 上堂頭遺跡 第12次調査

- 1 調査地 盛岡市上堂四丁目 8-1 外
- 2 調査原因 民間福祉施設建設
- 3 調査方法 対象区域全面の本調査
- 4 調査期間 平成 28 年 5 月 30 日～6 月 8 日
- 5 調査面積 646m²
- 6 調査員 佐々木 亮二・今松 佑太
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑 2 基,
時期不詳の竪穴状遺構 1 基
- 8 出土遺物 なし



第12次調査区 位置図

9 調査概要 本遺跡は市街地の北西部，北上川西岸の火山灰性砂台地の南に面した緩斜面に立地している。現況は旧農耕地で，老人福祉施設建設に伴う事前調査として建物部分を対象に本調査を実施した。調査区の地形は北西から南東にかけての緩斜面で比高差は約 1.8 m，標高値は 148.800 m～150.600 mをはかる。縄文時代の陥し穴状遺構は，調査区中央北部に 2 基並んで検出された。調査区中央南部には時期不詳の竪穴状遺構 1 基を検出している。平成 22 年度に北東隣で実施された第 11 次調査においても，縄文時代の陥し穴状遺構が多数発見されており，この地域一体は斜面を利用した狩猟場であったことが判明している。



上堂頭遺跡 第12次調査全体図 (1:400)



調査区全景（南より）



調査区全景（北より）



R D 087 陥し穴状土坑



R D 088 陥し穴状土坑



R E 002 竪穴状遺構

上堂頭遺跡 第12次調査

報告書抄録

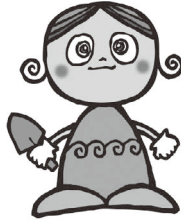
ふりがな		もりおかしいせきのまなびかん へいせい28ねんど かんぼう						
書名		盛岡市遺跡の学び館 平成28年度館報						
編集者名		多田 秀明・室野 秀文・菊地 幸裕・津嶋 知弘・神原 雄一郎・花井 正香・佐々木 亮二・鈴木 俊輝						
編集機関		盛岡市遺跡の学び館						
所在地		〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1 電話 019-635-6600						
発行年月日		2018年3月25日						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
盛岡城跡 (第36次)	岩手県盛岡市内丸 57-1	03201	LE16-0355	39° 43' 39"	141° 09' 00"	20161102 ～ 1222	300	保存整備事業に伴う事前調査
田貝遺跡 (第16次)	岩手県盛岡市上鹿妻 田貝11-1 外		LE15-2352	39° 40' 55"	141° 06' 21"	20160404 ～ 0426	743	診療所建設
西鹿渡遺跡 (第30次)	岩手県盛岡市三本柳2 地割35-17		LE27-1046	39° 39' 52"	141° 09' 47"	20160427 ～ 0524	73	個人住宅建築
細谷地遺跡 (第36次)	岩手県盛岡市向中野 字細谷地7-2 外		LE26-0214	39° 40' 29"	141° 08' 30"	20160509 ～ 1208	7,974	土地区画整理事業
台太郎遺跡 (第87・88次)	岩手県盛岡市向中野 二丁目137-29 外		LE16-2269	39° 40' 53"	141° 08' 18"	20160516 ～ 0603	122	個人住宅建築
里館遺跡 (第60次)	岩手県盛岡市北天昌 寺町17-6, 28-20		LE06-2027	39° 42' 43"	141° 07' 15"	20160704 ～ 0801	105	社屋建設
下永林遺跡 (第3次)	岩手県盛岡市三本柳 10地割46-3 外		LE27-2054	39° 39' 16"	141° 09' 43"	20160801 ～ 0930	617	土地区画整理事業
大谷地遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市玉山字 ふたごさわちない 二子沢地内		KE67-0354	39° 50' 05"	141° 11' 54"	20160818 ～ 1116	815	市道改良工事
小山遺跡 (第41次)	岩手県盛岡市東中野 町30-1		LE17-1113	39° 41' 41"	141° 10' 20"	20160829 ～ 1130	196	福祉施設建設
岩洞湖G遺跡 (第2次)	岩手県盛岡市数川字 かめほしちない 亀橋地内		KF61-1002	39° 49' 51"	141° 20' 51"	20161107 ～ 1130	84	市道改良工事
志波城跡 (第112次)	岩手県盛岡市中太田 よしわら 吉原51-4		LE15-2317	39° 41' 12"	141° 06' 34"	20161121 ～ 1207	135	個人住宅建替
下田館跡 (第1次)	岩手県盛岡市下田字 おいでぶくろ 生出袋62-3, 62-4		KE56-2307	39° 50' 51"	141° 09' 20"	20161219 ～ 1221	240	墓地整備
上堂頭遺跡 (第12次)	岩手県盛岡市上堂四 つめ 丁目8-1 外	LE06-0123	39° 43' 48"	141° 07' 26"	20160530 ～ 0608	646	民間福祉施設建設	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
盛岡城跡 (第36次)	城館跡	近世	土塁2条, 堀1条, 柵2条, 礎石建物跡4棟		瓦, 陶磁器, 古銭 コンテナ20箱		御台所跡の礎石建物跡を確認	
田貝遺跡 (第16次)	集落跡	縄文 平安	土坑4基 溝跡1条		縄文土器・石器 コンテナ1/3箱			
西鹿渡遺跡 (第30次)	集落跡	奈良	竪穴建物跡1棟		土師器・土製品 コンテナ2箱			
細谷地遺跡 (第36次)	集落跡	縄文 平安	陥し穴状土坑21基 竪穴建物跡1棟		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ1箱			
台太郎遺跡 (第87・88次)	集落跡	古代	竪穴建物跡1棟, 竪穴跡1基		土師器・土製品 コンテナ2箱			
里館遺跡 (第60次)	城館跡	中世	堀跡2条, 土坑2基		常滑甕片, かわけ片, 近 世陶磁器片		勾当館の堀跡を確認	
下永林遺跡 (第3次)	散布地	縄文 奈良・平安	土坑1基 円形周溝3基		土師器・須恵器・あかやき 土器 コンテナ1/2箱		古墳(円墳)の周溝を確認	
大谷地遺跡 (第2次)	散布地	縄文 平安	陥し穴状土坑2基 陥し穴状土坑1基, 土坑1基		縄文早期～前期の土器・石 器 コンテナ3箱			
小山遺跡 (第41次)	集落跡	縄文	竪穴建物跡2棟		縄文前期～中期の土器・石 器 コンテナ50箱			
岩洞湖G遺跡 (第2次)	散布地	縄文	土坑1基					
志波城跡 (第112次)	城柵跡	平安	掘立柱建物跡掘方1基, 雨落溝跡, 土坑1基		土師器甕片			
下田館跡 (第1次)	城館跡	縄文	遺物包含層		縄文早期の土器・石器		早期初頭の無文土器や早期 前葉の押型文土器が出土	
上堂頭遺跡 (第12次)	集落跡	縄文	陥し穴状土坑2基					

盛岡市遺跡の学び館 平成 28 年度 館報

平成 30 年 3 月 25 日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
e-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/
rekishi/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/moriokagaido/rekishi/manabikan/index.html)

印刷 株式会社 光文社
〒 020-0106 岩手県盛岡市東松園三丁目 12-1
電話 019-661-3441 FAX 019-661-3434



盛岡市 遺跡の学び館